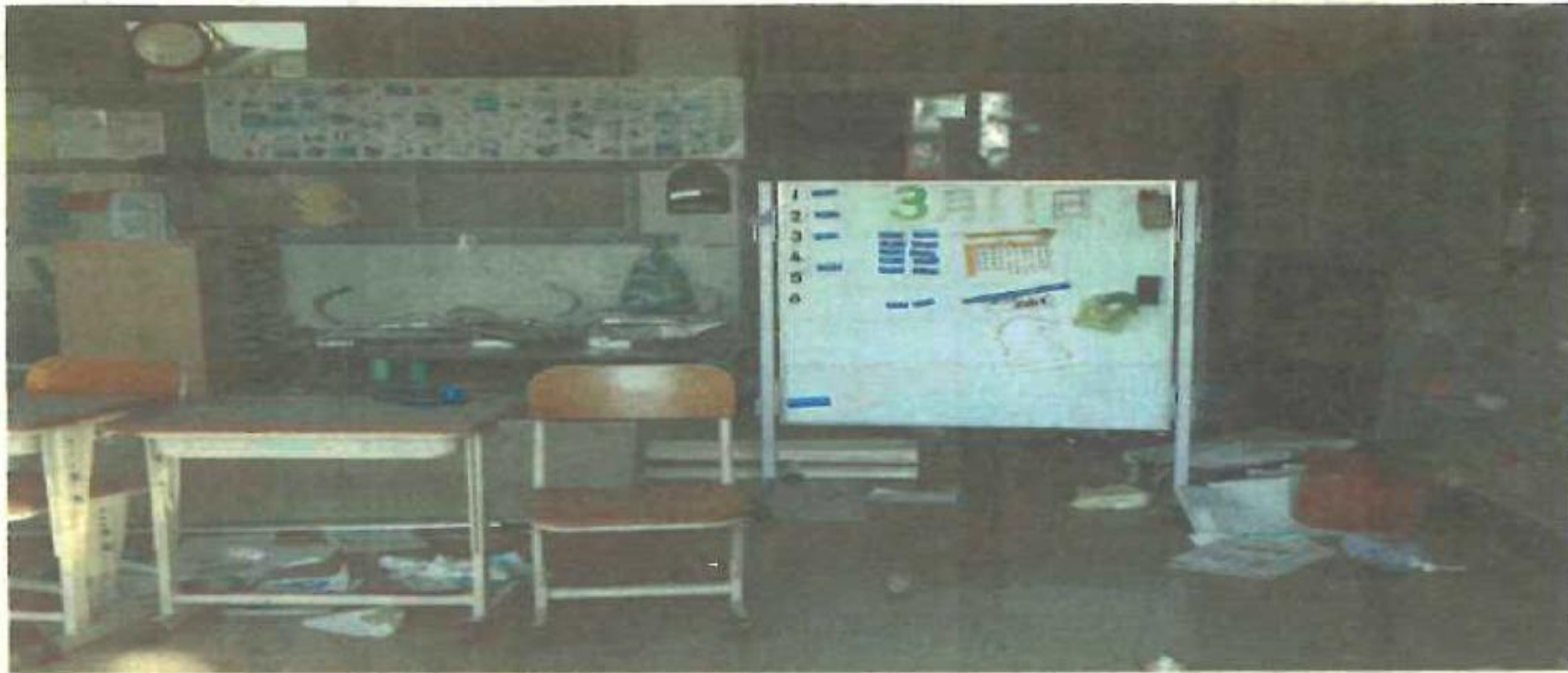


**温故創新**

**おおくまが目指す  
未来の学校**

**大熊町教育委員会 木村 政文**

# < 学び舎 あの日のまま ~2011年3月11日~ >



## 教室「3.11」の跡

東京電力福島第一原発が立地する福島県大熊町の帰還困難区域に、原発事故直後のまま取り残された校舎がある。

原発の南西3.5キロに位置す

東日本  
大震災  
10年

る熊町小と、震災の日に卒業生を送り出したばかりだった大熊中だ。今回、町教育委員会の許可を受けて両校を撮影取材した。

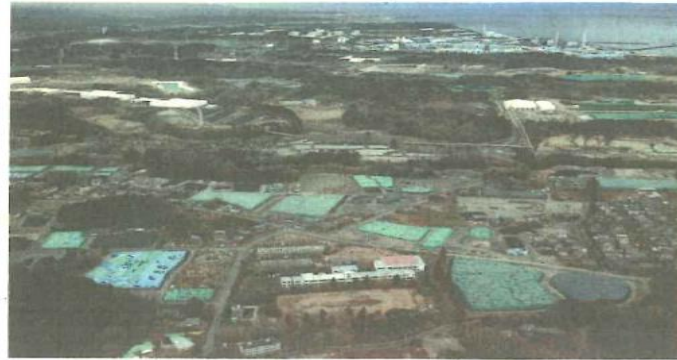
3月11日の日付のままの教室一写真、武藤要撮影一や、紅白幕が張られた体育館に、混乱の痕跡があった。<写真特集18面、関連記事24面>

# < 学び舎 あの日のまま ~2011年3月11日~ >

2021年(令和3年)2月11日(木曜日)読売新聞(18)資料



大熊中の校庭には、生い茂る雑草に車が埋もれていた。当時、多くの住民が同校に避難していた(4日午後)



汚染土などを一時保管する中間貯蔵施設用地の中にある熊町小(中央下)。東京電力福島第一原発(右上)事故により、周囲は帰還困難区域になっている(1月16日、本社ヘリから)



## 学び舎あの日のまま

福島県大熊町の帰還困難区域にある町立熊町小学校は、校舎が唯一、除染の汚染土などを搬入する中間貯蔵施設の用地の中にある。今月4日、「窓の外から」との条件で町教育委員会の許可を得、同小と町内の大熊中を撮影した。

東日本  
大震災  
10年

\*福島・大熊

2011年3月11日、福島の途  
中だった同小の教室は激しい揺れに覆われた。子供たちは校庭に逃げ、雪の中で身を寄せ合った。翌日、東京電力福島第一原発事故で町全域に避難指示が出た。教科書は床に散らばり、ランドセルが机に残された。大熊中では震災当日の午前中に卒業式が行われたが、会場の体育館は避難所となつた。翌朝、住民は大型バスなどで町を去つていった。

学舎の静寂とは対照的に、町内では中間貯蔵施設が稼働し、汚染土を積んだ大型トラックがひっきりなしに行き交っていた。写真 伊藤絃一、武藤要



机の上に置かれていた国語辞典。授業中、児童は調べる度に付箋を貼っていたという(4日午前)

2011年3月11日、大熊中では卒業式が行われた。体育館に空れた紅白幕の前には、ハイフスが円形に並び、中央に幕布が置かれていた(4日午後)

死者(全国) 1万5899人	震災関連死(3県) 3715人	仮設住宅入居者数 1120人 (3県、みなし仮設含む)
行方不明者(全国) 2526人	避難者(全国) 4万1781人	岩手 172人 宮城 13人 福島 935人

警察庁、各県などの最新データから

# 新しい学びのデザイン

## ～ 保育ドキュメンテーションとシームレス型保育～

### 認定こども園（幼保）

**体験の個別最適化**  
本物にふれる体験の充実

探究を通じた学びの充実

**探究のSTEAM化**  
五感で感じる「発見・試行錯誤・創造・共有・振り返り」の楽しさ

探究を通じた学びの充実

豊かな感性を育むものづくりを重視し「やってみ隊」活動の充実  
かき隊 よお隊 つい隊 ひい隊 くわいて隊 うごき隊

**保育ドキュメンテーションの実践**

デジタルの動き

ICTを活用したドキュメンテーションにより、幼児の心の面での成長を「見える化」

アナログの質

**心のバイタルチェック**

- 調子
- 息づかい
- 鼓動
- ときめき
- 感情

心の音も「見える化」し、日々の記録から、確かな幼児理解に基づく保育の質の向上へ！

多様性(多様な人との関わり、多様な発見、多様な学び)を大切に一人一人に応じた保育 [イナプラン教育の理念と、レジョ・エミリアの教育アプローチに学ぶ]

混在 × 多様性 **シームレス型保育** アナログ × デジタル

年齢	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
学年	0-1	2-3	年少	年中	年中	年中	1	2	3	4	5	5	7	8	8	8

小1プロブレム解決 中1プロブレム解決

切れ目や縫ぎ目なく、一人一人の成長を一貫して見守ります。

① 義務教育学校教員の専門性と本物を保育の場へ…【義務教育学校との連携】  
② 年齢や立場の枠を超えて共に学び合う…【異年齢・世代間交流】

英語

音楽

理科

アーティスト  
アスリート

体育

美術

おにいさん  
おねえさん

映画監督  
ミュージシャン

探究を通じた学びの充実

おおくま教育応援団

### SDGsの実現に向けた 幼児教育

発行 令和3年3月  
大熊町教育委員会

町の教育理念	温故創新 (先人に学び、新しい文化を紡ぐ教育)
温故	絵本の読み聞かせ、意図的かつ計画的な遊び、心の教育、幼小連携など、これまで取り組んできた教育(おおくまのDNA)を引継ぐ。
創新	これからの時代に求められる資質・能力の基礎を培うことができるように、アナログとデジタルの良さを生かし、多様な個に対応した個別最適な保育を保障する。

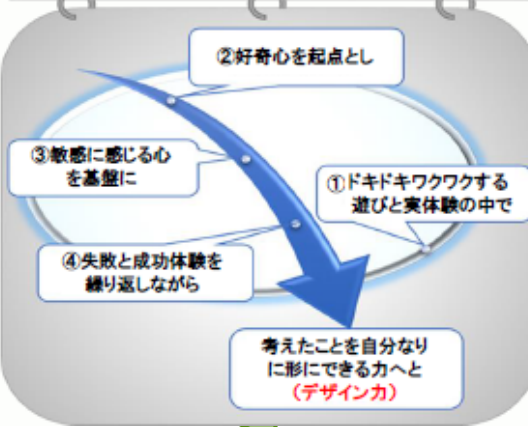
町の教育目標 **愛と英知と活力** ～誇りを持って、自分の未来を切り拓いていく～

幼児教育が育む次世代に必要な資質・能力

幼児教育がめざす子どもの姿

**大きく 大きく 大きく育て!**

～大いに遊び、大らかな心と、大胆な発想と行動力で、自分の考えたことを表現できる子ども～



幼児教育では、「混在と多様性」「アナログとデジタル」をキーワードに、15歳までの切れ目のない成長を見据えた一人一人に応じた教師の意図的かつ計画的な関わりの中で、保育と遊びの質を高め、就学以降の学びを支える豊かな基盤を育むための「シームレス型保育」を展開します。

具体的には、SDGsを念頭に置いた質の高い保育を子どもたちに提供し、実体験の個別最適化と探究のSTEAM化の循環的な保育を充実させることにより、デザイン力の基礎を培います。そのプロセスの中で自分の力を十分に発揮し、自らの考えを自分なりの方法で表現しながら、友だちと共に心も体も大きく育ち合う子どもの姿を目指します。

# 新しい学びのデザイン

## ～ 教科の個別最適化と 探究のSTEAM化 ～

### 義務教育学校(小・中学校)

#### ～ デザイン力を育む自律した学びの展開 ～

多様性(多様な人との関わり・多様な学びの方法)  
に対応した**個別最適化された学び**  
(イェナプラン教育の理念に学ぶ)

教科の個別最適化

探究のSTEAM化

#### 【教科の個別最適化】

「一人一人が」  
「自分の目標をもとに」  
「自分のペースで」  
「自分に合った方法で」  
「個別に、時に協働的に」  
「自分から進んで」  
「学習をマネジメントする」  
AIを活用し、子どもたち  
一人一人の**学習進度**に  
応じたきめ細やかな指導  
(確実な習得と習熟)

#### 【探究のSTEAM化】

「現代的な諸課題がテーマ」  
(SDGsの目標17項目に関連)  
「各教科の知識・考え方を  
統合的に働かせる」  
(教科横断的な学習)  
「問題解決を試みる」  
「ものづくり(本づくり)に取り組む」  
(デザイン思考の育成)  
「新たな価値の創造を  
実感し、活用する」  
(総称) ||  
**未来デザインの時間**

#### ～ 未来デザインの時間の学習 ～

持続可能な社会の担い手の育成  
～社会的課題への主体的な関わりを通して～  
「SDGsの実現に向けた学習が育む問題解決の力」  
\*3～5学年…探究学習を通して、学び方(探究の過程の習熟)とSDGsの視点に気付く力(感じ・考える)  
\*6～9学年…社会的課題を、SDGsの視点から分析・思考し、必要な情報を収集して的確な判断に活用する力、及び多様な人々と協働するための表現力や実践力(考え・行動する)

#### ～ 未来デザインの時間の学習の流れ ～

学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9
教育課程の区分	前期課程 (小学校学習指導要領)					後期課程 (中学校学習指導要領)			
教科学習の 習熟形態	学級担任制					特別担任制			
未来デザインの時間 (未来デザイン日)	基礎的な活動や 探究・実践活動					テーマに基づく学びの学習		個人による探究的な学習	
指導区分	第1ステージ		第2ステージ		第3ステージ				

～ これまでの充実した取組がベース ～  
アナログ × デジタル  
読書の町 読み聞かせ → 本の生まれる学校  
調べる学習(図書活用+探究活動)  
→ 探究学習のSTEAM化  
特別支援教育 → 個別指導計画 個別学習計画  
ICT教育 → 5G・AIなど最先端のICT教育  
英語教育 → 技能教科での英語活用  
ふるさと教育 → 大熊DNAデザイン

脱炭素社会  
スマートスクール  
へ挑戦!!

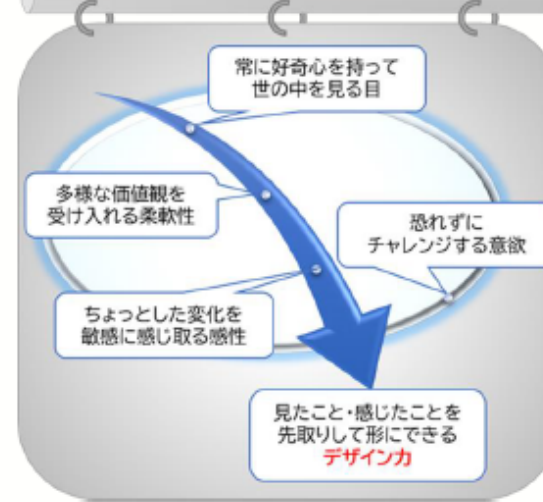
多様性  
×  
混在

### SDGsの実現に向けた 学校教育

発行 令和3年3月  
大熊町教育委員会

町の教育理念	温故創新(先人に学び、新しい文化を紡ぐ教育)
温故	読書活動、調べる学習、ふるさと教育、心の教育など、これまで取り組んできた教育(おおくまのDNA)を引継ぐ。
創新	これからの時代に求められる資質・能力を育成できるように、アナログとデジタルを生かし、多様な個に対応した個別最適な学びを保障する。
町の教育目標	愛と英知と活力 ～誇りを持って、自分の未来を切り拓いていく～

#### 教育が育む次世代に必要な資質・能力



#### 学校教育がめざす子どもの姿

誰もが **Let's Challenge!**  
**未来をつくる アイ & プライド**  
グローバルな視点を持ち、  
「持続可能な社会」を創り出す子ども

【アイ】は、「愛」と「Eye(眼識・ものを見る目)」と4つの「I」  
・「Individual」(個性の発揮)・「Inclusion」(認め合い)  
・「Innovation」(新機軸)・「Intelligence」(すぐれた知恵)を表します。  
一人一人の多様性に応じた誰もが学び育つ環境の中で、今までに捉われない新しい工夫や方法を積極的に取り入れ挑戦することにより、自分の資質・能力を伸ばし自分の人生を豊かに、そして幸せにするとともに、世界中のどこにいても何をしていても「**学びのふるさと**」に誇り(プライド)を持ち、「**持続可能な社会**」を考え創り出す子どもの姿を目指します。

# 1 学年を超えて、 児童生徒が一緒に学ぶ

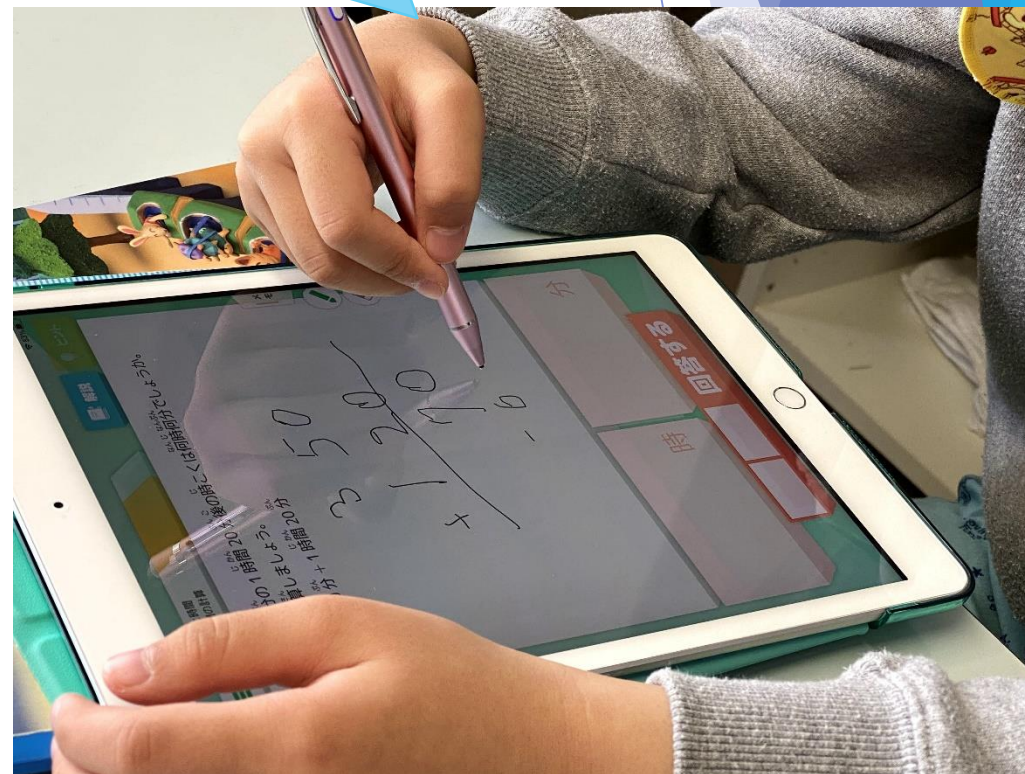
～ 一人一人が心地よい空間～



算数・数学科の授業では、導入時に、  
いつも、小学生と中学生と一緒に  
脳トレに **挑 戦** !

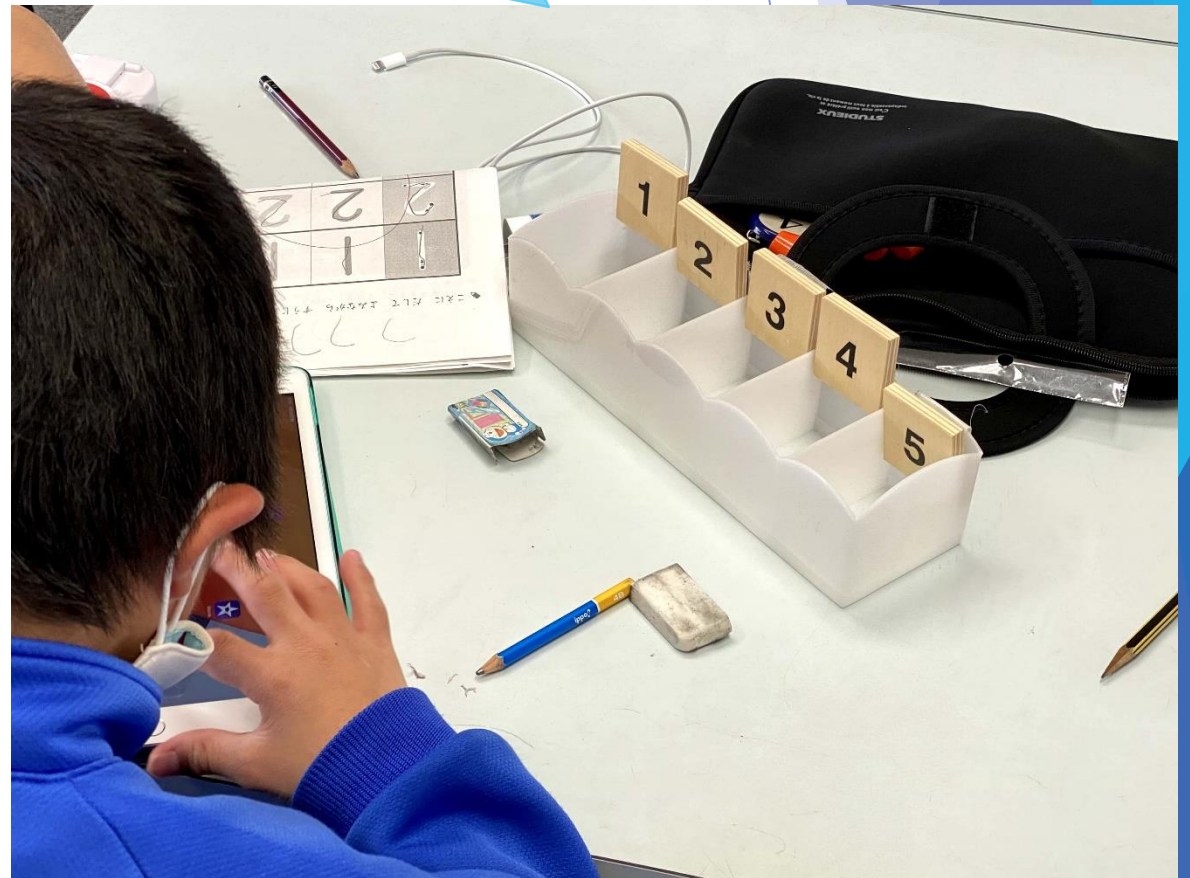
## 教科の個別最適化

脳トレが終わると、  
一人一人が自分の目標をもとに、  
自分のペースで、  
自分に合った方法による学びの開始





インクルーシブ教育  
～多様性の尊重、ともに学ぶ安心感～



ゆるやかな協働性に支えられた学び  
～個別に、そして、時に協働的に～



## ハイブリッドな学びの構築

～ A I を最大限に活用した

個別最適・協働的な学びの循環 ～



## 2 先生の役割も変わった

～戸惑いも手応えもある～

# Qubenaを活用した「手応え」

## ☆ Qubenaで「自分から学べる子」に

- 一斉授業では理解に時間のかかる子のペース  
↓
- Qubenaを取り入れてからは、一人一人がじっくりと自分のペースで課題に取り組み、自分が何を学んだか振り返り、自分でまとめる。
  - 『自分で頑張った分だけ着実に身につく』 実感
  - **学び方**が身についてきている

## ☆ Qubena導入で変わった教員の働き方

- 教える時間、及び教材や資料準備の時間が減少  
↓
- 生み出された時間 = 時間の余裕
  - じっくり教科書を読む　さまざまな問題を解く
  - **より教材研究の時間に充てられる**

# おおくまの子どもたちが抱く 教員のイメージ

“学び舎 ゆめの森” エリアごとにどんな思いや願いを込めていくか...

③ <sup>〜に〜関係する</sup> 同じ目線

味方  
子どもの “  
傾りにいる  
子どものヒーロー  
みんなの “  
誰でも、どんな人でも味方する  
信用できる人  
頼りになる  
紅茶  
応援お、助け合  
守り神  
頼れる友達  
I LOVE  
ハリ がいい

温かい ← 見守られる  
楽しい所  
手伝う人  
1番幸せ  
できることが多い  
背中を押してくれる  
笑顔にしてくれる  
未来を考へる人  
社会の厳しさを教えてくれる

親切  
希望

→ 終了 14:20.

みんなを支える神  
子どもを支える味方  
支えてくれるヒーロー  
できないことを教えてくれる人  
新しく学ぶ



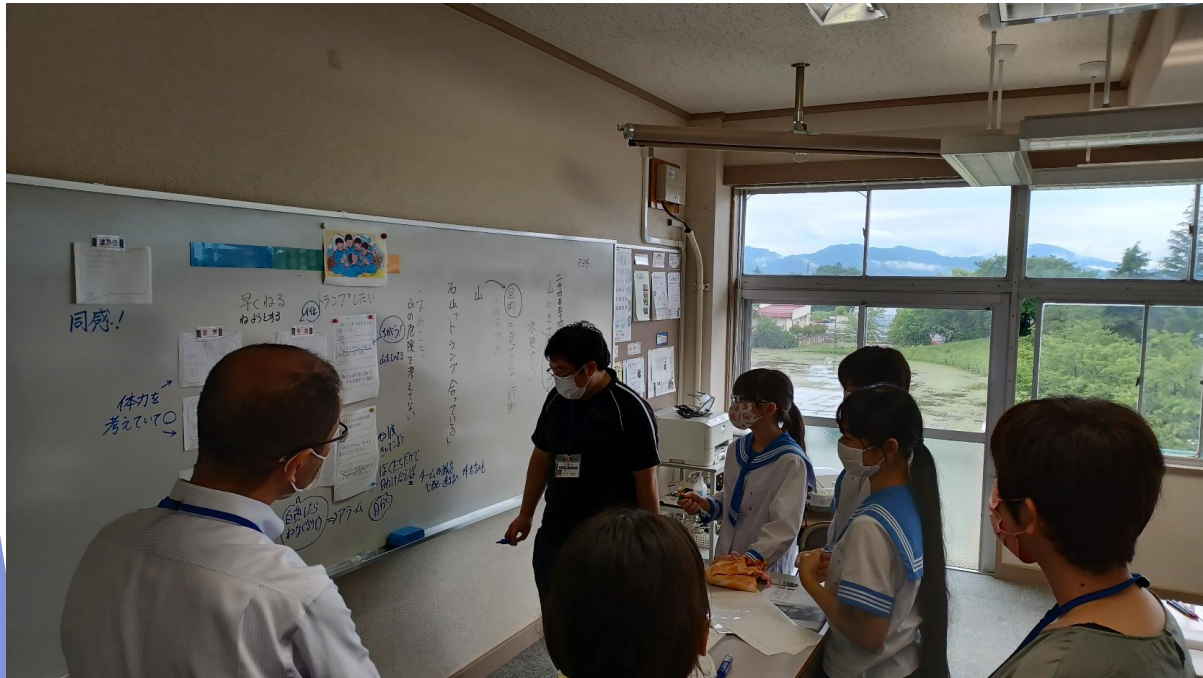
期待されているからこそ  
We're the “teachers”.  
求められているのは「人間力」

# おおくまが目指す 考える教員集団

- 1 **ビジョン策定** → 教職員が**プロ**としての唯一無二のキャリアストーリーを創る。
- 2 **余白をつくる** → 学校のそもそもリストによる**事務内容の見直し**。  
→ **極少人数**の学校規模の強み。  
→ **Ed-tech**による効率化。
- 3 **チームになる** → 小中学校**教科担任制**。教科部会。**お互い様、お陰様**の意識。  
→ リクルート**HITOLAB**による研修プログラム。  
→ **リスペクト**。
- 4 **探索・探求する** → **先進校**（自由の森学園、大日向小学校、風越学園、新渡戸文化学園、札幌新陽高校など）視察。
- 5 **実践し、体得する** → **未来デザインプロジェクト**。
- 6 **対話、越境を重ね、自律していく** → **リフレクション**。解説・評価・賞賛。  
→ **大学サテライト**。

# 授業スタイルも変わった

黒板を前に、椅子に座って、  
先生の話聞いて、  
ノートを取る授業からの  
**脱却**



ホワイトボードの前で、立ちながら  
**「考え、議論する」**

# 3 子どもが自ら選び決める 学習環境

～ 時間割も変わった～

# ▶ 授業を創る。

## ・プロを目指す授業研究

- 教科担任制
- 教科別ミーティング

学習者と相談して  
時間割を決める。

- 自分の考える「深い学び」の授業の提案
- 児童生徒とともに学び、常に互見授業

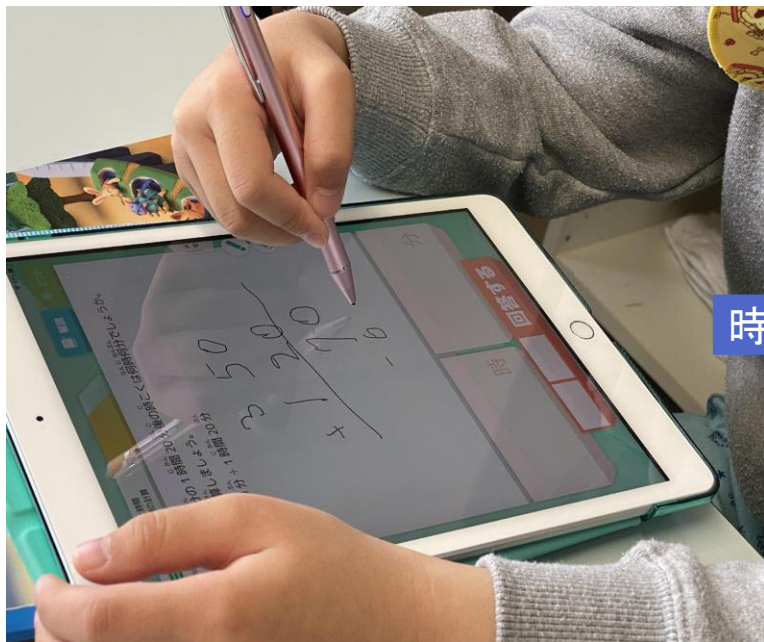
## チームで考える「深い学び」の授業

- 児童生徒に対する学びのオリエンテーション
- 探究者となるためのオリエンテーション

↓  
\* 脳科学エビデンスをベースにした学び方の修得



学習者と相談して  
時間割を決める。



時間割

時間割

個別最適な学びを  
教師がコーディネート

### 第9週 学校運営計画

令和3年5月31日(月)～ 令和3年6月6日(日)

日	曜	日直	本校行事予定	研修・会議等	授業予定						校外行事予定
					校時	1	2	3	4	5	
31	月	大竹	SC吉田先生勤務日 エフコム支援日 鈴木さん 月末統計 18日	校内研修 本間	1 3 4 6 1	算 国 社 国	体 国 理 家	国 社 理 英	社 理 理 理	国 国 理 理 美	●オンライン会議 11:00～12:00 本間 3:30～15:00 木下・合志山田
1	火	坂本	新校舎に関わるワークショップ 13:45～15:15 廣村正彰さん来校 東條D・猪狩HD勤務日		1 3 4 6 1	算 国 国 社	国 国 国 技	国 理 理 理	国 理 理 理 理	国 理 理 理 理	
2	水	鈴木(香)	猪狩HD勤務日 さつまいも苗植え 渡辺市雄さん宅畑 ※雨天時は6/3(木)に延期	2・4・5校時休	1 3 4 6 1	国 国 国 理	苗 苗 苗 苗	理 理 理 理	社 理 理 理	理 理 理 理	
3	木	和田	白井D・猪狩HD勤務日	初任者校内研修 会議室 校時目	1 3 4 6 1	音 音 音 理	音 音 音 理	音 音 音 理	音 音 音 理	音 音 音 理	⑤算数帯でも良いかな! (16社...)
4	金	川島	尿検査 2回目 SC花見先生勤務日 エフコム支援日 鈴木さん	初任者校内研修 会議室 2～4校時目	1 3 4 6 1	国 国 国 理	理 理 理 理	理 理 理 理	理 理 理 理	理 理 理 理	●福島大学附属小学校 授業づくりセミナー 目黒 鈴木(香) ①or②算数帯でも良いかな

Qubenaによる  
個々の児童生徒の**学びの履歴**

学習成果の蓄積を整理し、システム化する。

ポートフォリオによる**個別のキャリアパスポート**の作成

個々の児童生徒の**学びの履歴**

【今後の検討事項】

- ・ **児童生徒の個別学習計画の在り方**
  - ・ **教師の個別指導計画の在り方**
- **学習者が自律的に自分の学習ペースで進める、  
個別最適な学びを実現する学習環境づくり**

個々の児童生徒のオーダーメイドの教育課程

# 4 探究のSTEAM化

～基礎と活用の循環～

# 探究のSTEAM化

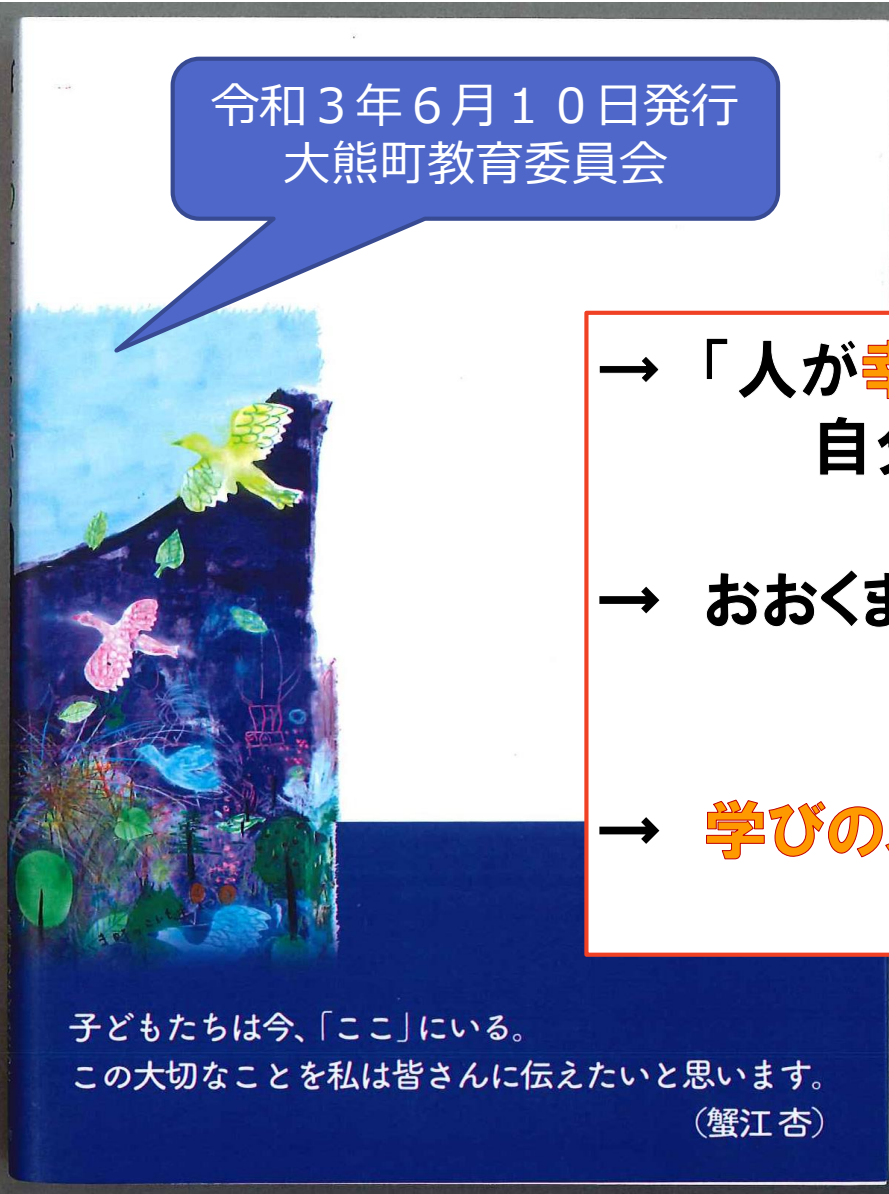
## 【未来デザインの時間のイメージ】



# ～ 未来人 (みらいと) プロジェクト ～



令和3年6月10日発行  
大熊町教育委員会



- 「人が**幸せ**になるために  
自分はどうしたら良いか。」
- おおくま応援団の  
**プロとの対話**から
- **学びのストーリー**を  
**絵本で出版**

# ～ Life is Techを活用した

# プログラミング教育「HP作成」～



仮設校舎最後の1年を記録  
大熊中振り返り動画  
公開しています



平成25年度から8年間にわたり会津若松市での大熊の教育を支えてきた中学校仮設校舎がこのたび、その役目を終えました。

最終年度となった令和2年度、仮設校舎での学びの様子を「会津での学習振り返り事業」として映像記録にまとめました。町公式サイトで公開しています。ぜひご覧ください。

町公式サイト  
大熊中仮設校舎、  
最後の1年を記録しました



問 大熊町役場 教育総務課 総務係

映像作成には生徒自身も参加する。大熊中では今夏、部活動「アーカイブ」を設立し、三人全員が入部した。会津若松市

2020年（令和2年）9月5日（土曜日）福島民報（34）資料

## 会津の思い出記録



大熊中仮設校舎「アーカイブ」最後の生徒3人

撮影初日、猪苗代町 月からは現在の会津大でオムニリーがわ 期大学の隣地に仮設校舎を建てて多岐 子が撮影した。さう 業を続けた。これま たいも仮設校舎に通 べて百十九分仮設校 たいいし、理は 舎を築いた。今年度で 全きは、映像は見た 物のし、契約が終了 けて、大熊を知る。 に入ら、先ず見えた 子若松（こ）して、 差けてもええ。 入れたら、仮設校舎で 記録して、たいと話 学んだとを誇りに思っ

町で保存、後世へ伝承

映像作成には生徒自身も参加する。大熊中では今夏、部活動「アーカイブ」を設立し、三人全員が入部した。会津若松市

10年ぶくしま

震災・原発事故

# 5 子どもの学びを活かす校舎

～ 子どもが自律的に個別最適な  
スタイルで学ぶ環境～

# 校舎設計におけるテーマ

## 「多様性と混在」

### 【多様性とは】

- 年齢、所属や立場を超えて**多様な人と出会う**
- **多様な空間と出会う**（一人で静かに学びに没頭できる場所、みんなで語り合える場所、読書にふける場所、お気に入りの場所、心が落ち着く穏やかな場所、やる気みなぎる場所など）
- **多様な文化と出会う**（書籍、絵画、工芸、音楽、歴史、伝統など）
- **多様な体験と出会う**（ものづくり、栽培、調理、演劇、スポーツなど）
- **多様な学びと出会う**（個別最適化された学び、グループ学習、探究的な学びなど）

### 【混在とは】

- **多世代が混在**する（乳児、幼児、児童、生徒に加え、教職員、地域の方々、大熊を応援する様々な方々が混ざって一緒に遊んだり、学んだり、活動したりする空間）
- 発達段階に応じた活動場所が混在する
- **アナログとデジタルが混在**する（実物に触れる、直接体験する、文字や映像として理解する、仮想的に体験する、遠隔での交流など）



# 0才から15才までが学び・地域住民も集う校舎

■外観パース



# 図書ひろば(おおくまベース)を中心としたゾーニング



# 校舎と敷地のイメージ

## ■配置計画図（外構計画図）

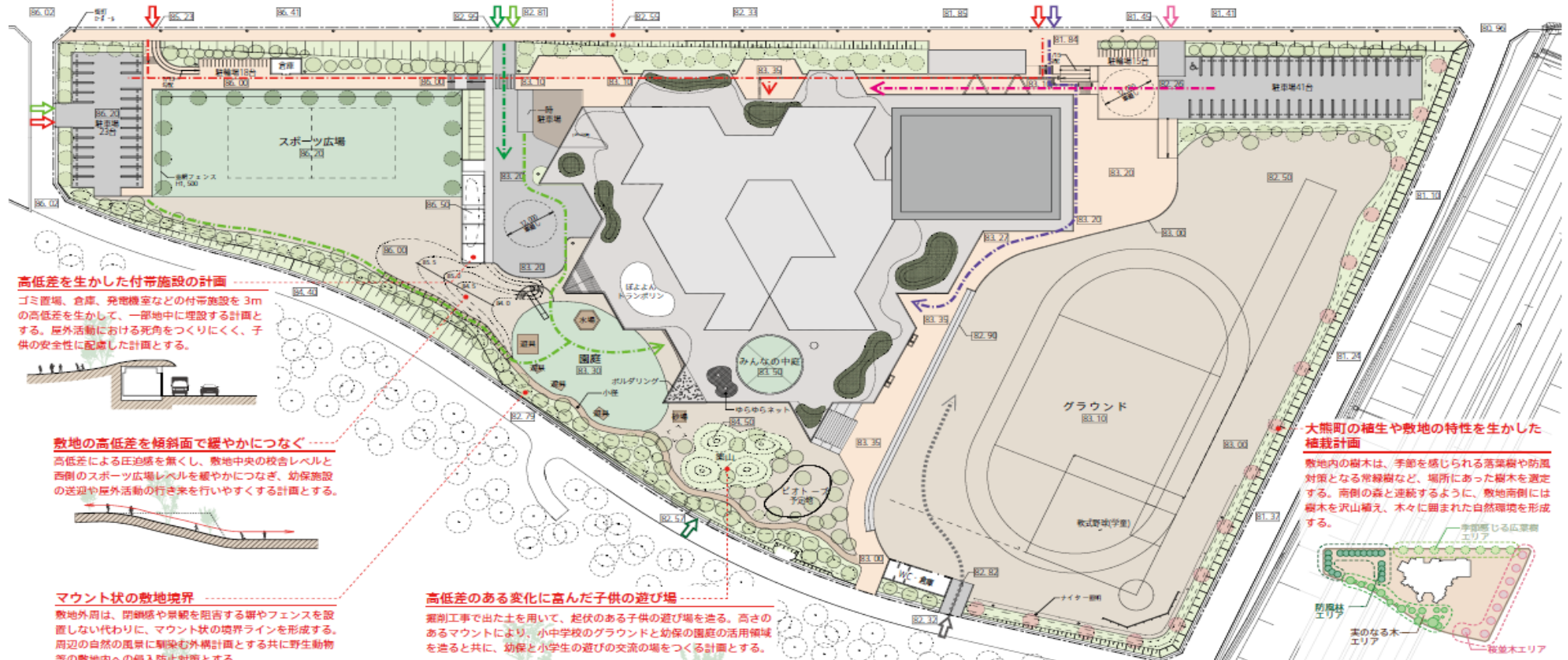
施設へのアプローチは、幼児、小中学生、教職員、地域住民など利用者に合わせた出入口・アプローチを計画し、それぞれの付近に管理諸室を配置し、職員の視認によるセキュリティを確保した計画とする。外部に隣接する各教室には、外部空間を取り込み、床仕上げをウッドデッキや土間、深い軒を出し、半屋外領域を形成する。屋内、半屋外、屋外と段階的な領域づくり、屋内外の連続した活動や周辺の自然環境を享受しやすい計画とする。

### 施設を取り囲む大きなプロムナード

人を施設へと自然に引き寄せる大きなプロムナードを施設周囲を取り囲むように計画する。歩行性に配慮した舗装ブロックを採用し、児童や利用者のアプローチを演出する。



凡例					
	舗装ブロック (プロムナード)		利用者		利用者出入口
	天然芝・人工芝		教職員		教職員出入口
	クレイ舗装		児童 (小中)		児童出入口
			保護者送迎		保護者送迎出入口
			サービス		サービス出入口
			緊急車両		緊急車両出入口



**高低差を生かした付帯施設の計画**  
ゴミ置場、倉庫、発電機室などの付帯施設を3mの高低差を生かして、一部地中に埋設する計画とする。屋外活動における死角をつくりにくく、子供の安全性に配慮した計画とする。

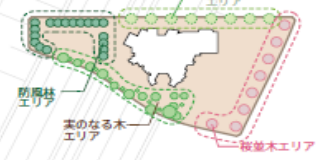
**敷地の高低差を傾斜面で緩やかにつなぐ**  
高低差による圧迫感を無くし、敷地中央の校舎レベルと西側のスポーツ広場レベルを緩やかにつなぐ。幼保施設の送迎や屋外活動の行き来を行いやすくする計画とする。

**マウント状の敷地境界**  
敷地外周は、閉鎖感や景観を阻害する塀やフェンスを設置しない代わりに、マウント状の境界ラインを形成する。周辺の自然の風景に馴染む外構計画とする共に野生動物等の敷地内への侵入防止対策とする。

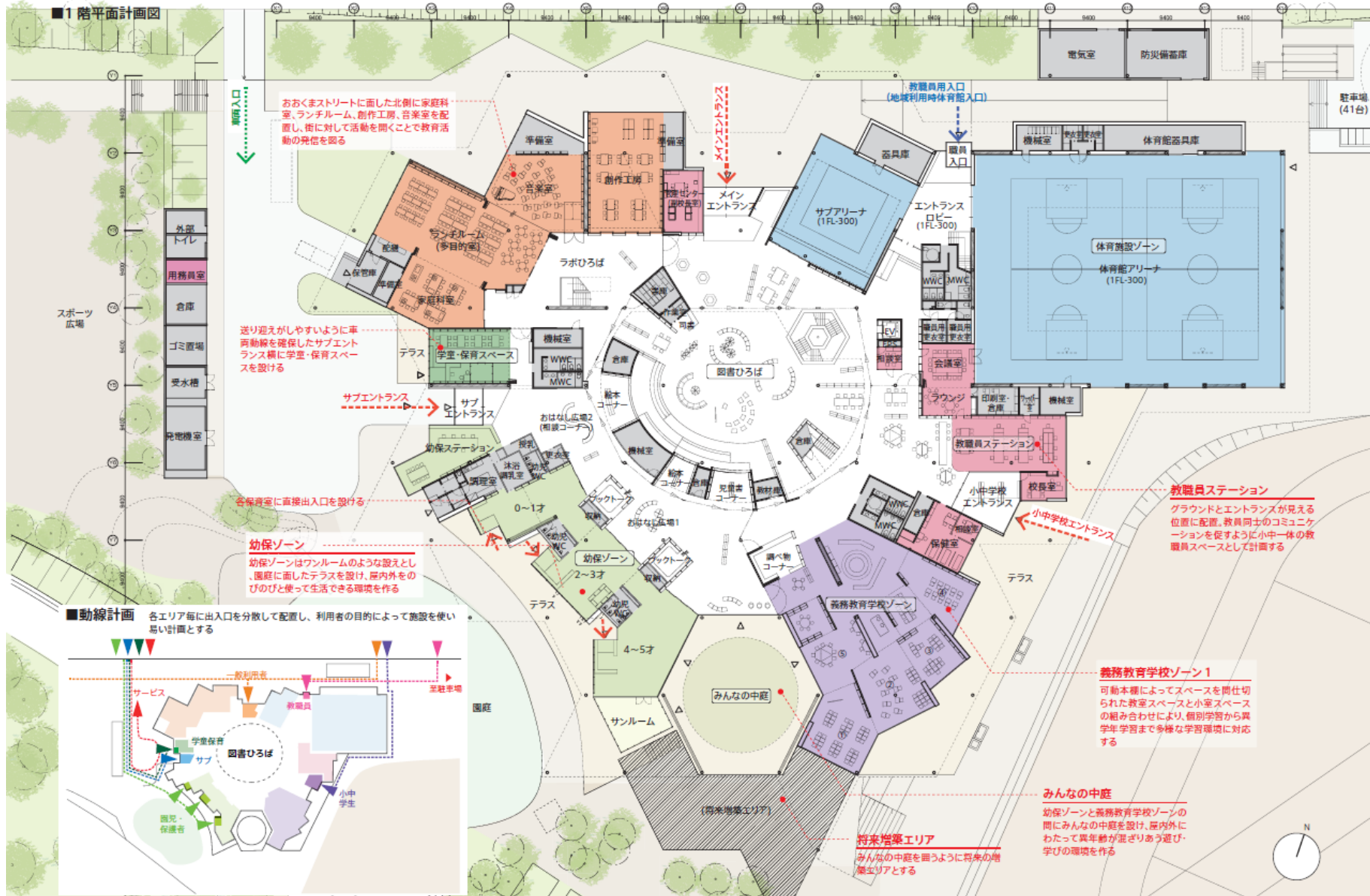
**高低差のある変化に富んだ子供の遊び場**  
掘削工事が出た土を用いて、起伏のある子供の遊び場を造る。高さのあるマウントにより、小中学校のグラウンドと幼保の園庭の活用領域を造ると共に、幼保と小学生の遊びの交流の場をつくる計画とする。

### 大熊町の植生や敷地の特性を生かした植栽計画

敷地内の樹木は、季節を感じられる落葉樹や防風対策となる常緑樹など、場所にあった樹木を選定する。両側の森と連続するように、敷地南側には樹木を沢山植え、木々に囲まれた自然環境を形成する。



# 幼保・義務教育学校ゾーン (1階)

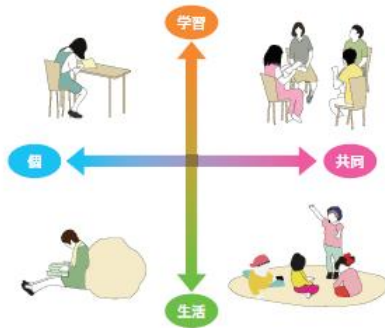


# 義務教育学校・大学サテライト・教員研修ゾーン(2階)

■2階平面計画図

## □学習環境の考え方

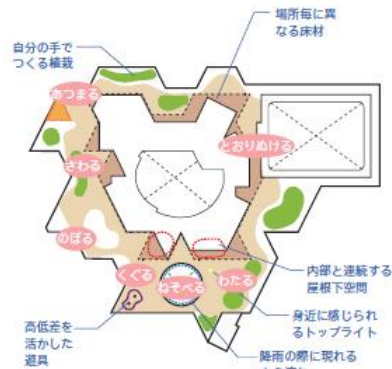
施設全体の学習環境の設えとして、落ち着いて学習に集中できる環境からリラックスできる環境、個人で学習する環境から共同で学習する環境、様々なシチュエーションに対して対応する場所を用意し、生徒が自分で環境を選択しながら学習できる計画とする。



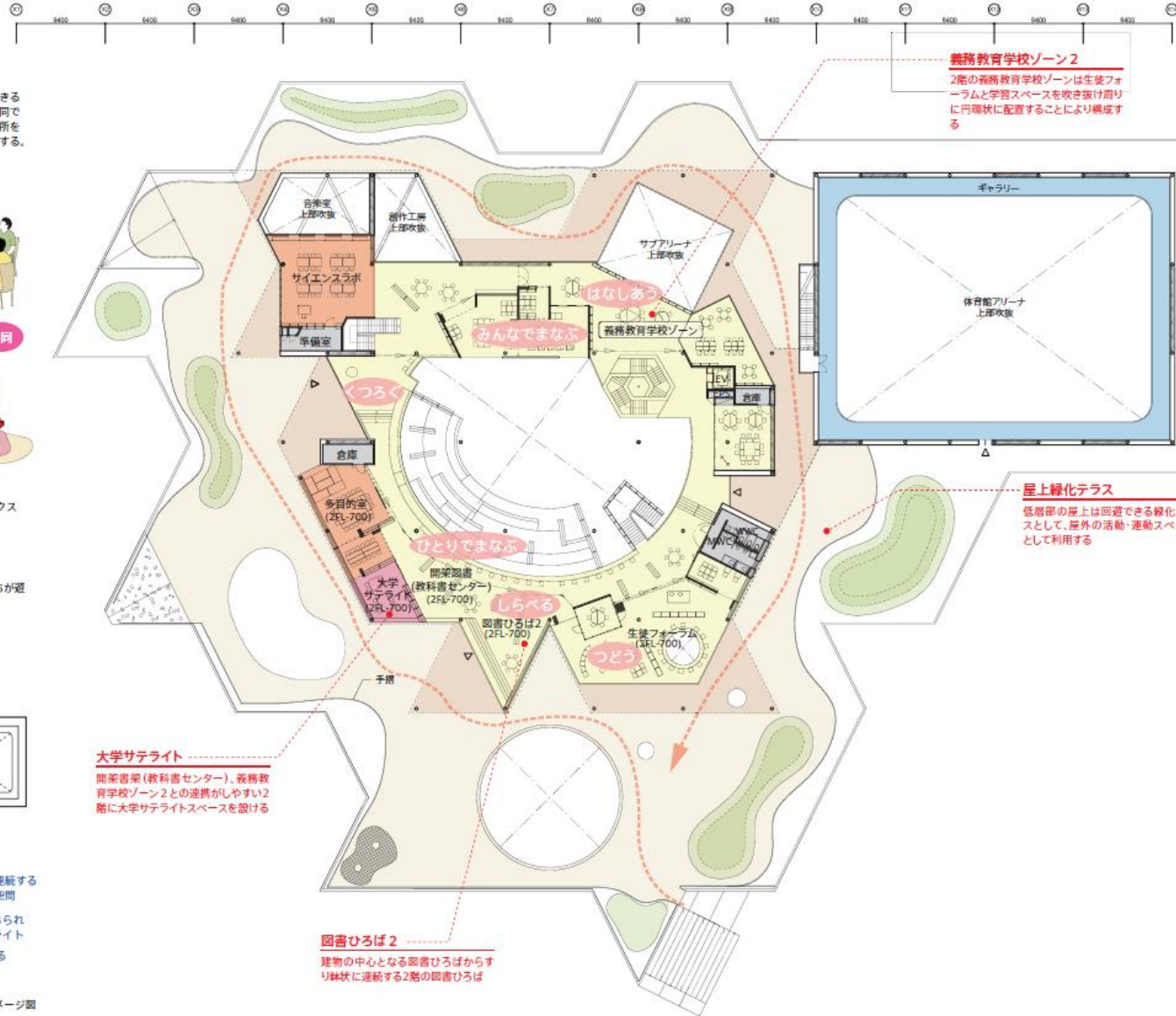
学習空間マトリクス

## □屋上広場計画

1階屋上は、「遊びと創造のひろば」をテーマとし、子供たちが遊びながら学べる仕組みを随所に取り入れる計画とする。



屋上広場計画イメージ図



# < 居心地の良い 突き抜け感 >

令和2年度11月27日(金)  
河北新報(宮城県の地方紙)の記事

デスク  
日誌

突き抜け感

子どもたちは実に明る  
い。「こんにちは」と大きな  
声であいさつしてくれる。  
おじさん記者の丸まった背  
筋がぴんとなる。東京電力

福島第1原発事故で会津若  
松市に避難する福島県大熊  
町の学校に通う子どもたち  
に、いつも元気をもらおう。  
取材で質問をすると、的確  
な答えが返ってくる。大熊  
に限らない。東日本大震  
災と原発事故後、自分の考  
えをしつかりと説明できる  
子が、被災地で増えたよう  
に思う。

その一方で心配なことも  
ある。復興に懸命に取り組  
む大人を見聞きして育った  
子どもたち。「自分もしつ

かりしないと」と過度に期  
待に応えようとしていない  
か。子どもらしさを閉じ込  
めていないか…。  
もっとも大熊の子の場  
合、無用の心配かもしれな  
い。先生をはじめ周囲の大  
人たちが、笑顔や希望を失  
っていないからだ。

交流ワイド面の連載「学  
び再興 福島・大熊の挑  
戦」で紹介した町の新たな  
義務教育学校は、いわば「学  
校らしくない学校」。周回  
遅れの復興を悲観してはか  
りいられない。どこにもな  
い学校をつくろう。魅力あ  
る学校には人が集う。そん  
な突き抜け感が新鮮だ。(会  
津若松支局長 玉應雅史)